

立命館大学文学部卒業論文題目

動物の様々な死にどのように直面するか

堀井 香織

西田哲学において宗教とは

〜善の研究より〜

丸橋 結

親の権利か子の命の尊重か

西田幾多郎の宗教論

米津 麻友

エピクロス快樂主義についての一考察

ピタゴラス哲学に見る宗教と学問

加藤 寛基

日本人の死生観

ニーチェと方位学

小林 辰吾

イスラーム

〜アッラーと人間の関係性〜

野田健太郎

「自由」の定義についての考察。それは我々にとつてどのよう

に必要な価値を与えることができるのか。J・S・ミルの『自由論』を基に考える。

長谷川 廉

由比あすか

ギリシア悲劇の必然性

安楽死を患者の福利として考える

久保田彩花

「生命の質」を維持すること

カントの「嘘」と約束における問題

石井 優里

J・ロールズにおける正義原理の正当化

市川 裕介

岡 綾香

何故人を殺してはいけないのか

トマス・ホップズにおける「自由」について

斎川 僚

自己決定の限界

〜生きる意味〜

瀬川 智文

ケアの倫理と正義の倫理の両立

中尾 友美

哲学専攻

ホワイトヘッド哲学における自由と不滅性

有村 直輝

バタイユのエロティシズム論における生の本質について

小泉 綾加

シエリングの自由論における二元性と統一

―自由を持つ人間の「生」の在り方―

ナンシーにおける「共同体」についての考察

福島あずさ

野球選手の人間形成論に見るスポーツ哲学

佛田 翔

規律社会の終焉は教育に何をもたらしたか

松野 弘明

サルヴァドール・ダリ

―ダリの人格と作品との関係―

デイヴィッド・リンチ映画における不条理の構造

―カフカ、ペーコンの影響を中心に―

『嘔吐』におけるサルトルの思想

ポストモダンのネットワーク社会下の主観的自我

と不条理的実存

自死論

ハイデッガーは死んだのか

我々は利己的なのか、利他的なのか、レヴィナスとドーキンスの対立

メランコリーとわたし

産業社会から知識基盤社会へ

―再生産社会とその変容―

生きるということ

―木村敏における他者への考察―

時間の実在性の考察とその本質

芸術作品とは何か

人はどこまで自由に欲望を充足できるか

道徳の可変性と人間本性の普遍性

外来種問題における倫理的アプローチ

―啓蒙された人間中心主義の立場から―

捕鯨にみる動物資源の利用

脳死は人の死か

一夫多妻制から社会を考える

アダム・スミス

―富の追求と道徳―

心の哲学における自然主義的思想の限界について

―富の追求と道徳―

脳と心からみる意識存在の根拠

ハイデッガーは死んだのか

友松 桂吾

伊東 仁美

友松 桂吾

西 俊輔

平井 健太

平野 裕香

堀 遼

前村有里香

大久保直哉

那谷 享平

石川智由希

大野 亜美

川邊和香奈

鎌田 真司

寺井 哲史

中川 拓俊

花田 鈴

西田幾多郎の宗教論

エピクロス快樂主義についての一考察

ピタゴラス哲学に見る宗教と学問

日本人の死生観

ニーチェと方位学

イスラーム

清水 岳

丸橋 結

米津 麻友

加藤 寛基

小林 辰吾

野田健太郎

上家 唱

北田 哲也

久保田彩花

石井 優里

市川 裕介

岡 綾香

斎川 僚

瀬川 智文

中尾 友美

花田 鈴

カントの自由と道徳法則の関係  
J・S・Millの功利主義

「自分」とは何か  
勉強嫌いへの対策

新美 裕子  
高橋 里佳

地域コミュニティが人間形成に与える影響についての一考察  
スポーツが人間形成に寄与する要因についての考察

常岡伸一郎

生命の神聖性説の崩壊

理想の勉強とは

宮原 利衣  
田中 直明

スポーツマンシップを問い直す

中谷 祐介

生命の質という区別

『我と汝』をめぐって

山崎 大夢  
田中 勇記

林竹二にみる理想の教師像についての試論

芳賀 貴裕

永井均の〈私〉論を読む

孟子に学ぶ

永見 利晴  
田村 有希

なぜ『大阪人は面白い』のか  
色彩と住生活との関係性について

松永香菜子  
三木 望実

情報社会に著作権問題と新たな可能性について

「甘え」再考  
幸福論

永見 利晴  
山本 佳奈

コミュニケーションのもう一つの可能性  
妄想現象を捉えなおす

吉田亜希恵

ハンナ・アレントにおける大衆と全体主義運動

養育者と支援者とをつなぐ学校教育を核とした新たな支援システムの構築に関する考察

小林 愛  
池之上祐太

競争原理を超える教育の可能性の追求  
人間が生きることにおける競い合うことの意味

吉田 創亮

ジャンケレヴィッチに見る生と死の関係

教師という存在を問い直す

多賀谷祥子  
石本 利拓

中学校における生徒の居場所となる学級  
問題行動から担任の役割を考える

大川 美里

企業不祥事の防止における経営者の役割・重要性

影響について

寺井 大樹  
粥川 万里

自分の生き方を自覚するために  
白昼夢の研究を手掛かりに

大田 実佳

パークのフランス革命批判と保守的改革

する考察

仲野 修平  
小島 大知

自己肯定感の育まれ方  
他者評価と自己評価を通して

柴田あゆみ

### 教育人間学専攻

息をみつめて

女性はずなぜ化粧をするのか

松本 萌  
佐藤 詩織

自己肯定感の育まれ方  
他者評価と自己評価を通して

柴田あゆみ

親と子の愛

生徒の悩み・不安に対する学校としてのアプローチ

松本 萌  
高木 龍一

自己肯定感の育まれ方  
他者評価と自己評価を通して

柴田あゆみ

フランクルから学ぶ「生きる意味」

失敗を恐れない精神を養う教育についての考察

岡田 侑也  
田畑 理樹

部活動と人間形成  
中学校における部活動指導者の役割

森内 幸司

持つ・ある・愛

ての考察

金子 友美  
高根 康生

部活動と人間形成  
中学校における部活動指導者の役割

森内 幸司

日本在住外国人の子どもの教育

— ニューカマーの子どもに対する日本語教育、母語

教育、母語・母文化保持の視点から 王 翔

不登校支援

— 親の会に焦点を当てて— 丸橋 理恵

経験による教育

— デューイを中心に— 石川 翔大

「影」について

— 私が気づいていない私— 岩場万有香

スポーツにおける人間形成

— バスケとボールを中心に— 上山 栞

「少女」の終わり

— 恩田陸『蛇行する川のほとり』を通して— 尾島 貴子

人と動物の関係について

— アニマルセラピーを中心に— 澤田 美保

オルタナティブスクールと『学校』の枠組み拡大

橋本 真人

死者との再出発

— 宮沢賢治の死生観から— 樋口 梓

「私」なるものについて

死生観 伊藤 岳史

ストレスマネジメントについて

岡田 雪清 岡部 藍圭

愛から学ぶこと

パーソナルスペースと人間関係 川田 沙織

関係的自己の多面性と自尊感情の考察

中井 美穂 永井 祐衣

母と娘の関係

— 娘の自尊感情をめぐって—

矛盾の認識から気付く自己 堀本 明希

現代人の死

「幸せ」を身に付けるには 三宅 善正

— プラスサイクルを通して— 伊藤 希

「きみのなまえをよぶこえ」

— 読み聞かせてひらく絵本の可能性— 植森 麻奈

不完全な人間の完全な自分

理想のパートナーシップへのアプローチ 浦井 達矢

箱庭による内面世界へのアプローチ 大熊 悦子

音楽・家族・私 熊谷 裕太

友人関係 小島友理恵

— 「自」と「友」— 坂田真奈実

— 理想の自分に向けて— 中出 歩希

— 評価との関わりかた— 深海 達哉

— 比べない、認め合う生きかたの探求— 丸山みなえ

— 子どもはどのように絵本をよむのか— 安田梨見子

— 高齢者福祉の現状と課題— 山田 祐衣

— 家族としての視点から— 横山 翔太

— 天才は教育によって生み出せるのか— 米田 真平

— 「狂気」の考察— 崔 翔

日本文学専攻

『万葉集』東歌の駒

祭祀と祭文 柴田 翼

平安文学における「幻」 三谷 隆幸

『夜の寝覚』の「母」 池田 彩音

なぜ嫉妬で指を喰うのか

— 「指喰いの女」考— 伊藤 寛子

『夜の寝覚』における音楽描写について

平安文学における「こそ」の活用例と比較 長村 冴香

平安文学における「紫」 河野 純一

『更級日記』の「山里」 藤野 智世

八百屋お七考 山本 知佐

「冥途の飛脚」における人物像の変遷 伊奈 妙佳

「恋合端唄尽し」に見る小町業平伝説の受容考 永崎 恵子

八世市川団十郎考 北川 翔子

伊達騒動物における高尾太夫考 木村 大樹

— 吊るし斬りを中心に— 辻本 麻弥

歌舞伎『助六』考 山田 和季

異類婚姻譚としての『押絵と旅する男』 末長 優一

江戸川乱歩論 川野 勇馬

— 「虫」を中心として— 安喜 一葉

武者小路実篤『愛と死』西洋と東洋

曾根圭介「鼻」論 足立 景司

— 現代日本における諸問題の考察— 石川 佑樹

— 時代で移り変わる「ヒミズ」像—

『ジョジョの奇妙な冒険』論 荒木飛呂彦における

表現手法の特徴 江口 貫拙

やなせたかし「アンパンマン」論 川西 舞

桐山襲『神殿レプリカ』論

—二つの「物語」の力について— 栗山 雄佑

村上春樹『世界の終りとハードボイルド・ワンダー

ランド』論

—パラレルワールドという問題系— 小林 加奈

倉橋由美子「ヴァージニア」論 小森 誠二

谷崎潤一郎「小さな王国」論 齋藤 千尋

林房雄「四つの文字」論 塩崎 加奈

桐野夏生『グロテスク』論

—格差の中で揺らぐジェンダーアイデンティティ— 田中日向子

佐多稲子「キャラメル工場から」、「目見得」論

有川浩『塩の街』論 榎木慎太郎

富岡多恵子「芻狗」論 野村彩也香

野坂昭如『火垂るの墓』論 道下 真貴

—子供へのおもい— 村上 真弓

梶井基次郎「檸檬」論 臨光紗由里

平林たい子「殴る」論 政 映里

デイブニー映画における家族像

—片親、義理親による諸問題を中心に— 姜 信倍

谷崎潤一郎『秘密』論 若井 司

梶井基次郎「檸檬」論

—「えたいの知れない不吉な塊」について—

石井 翔子

太宰治「貨幣」論

庄野潤三「静物」

—父親と細君の望む「今」という閉じられた完結世

界—

恩田陸『ユージンニア』論

坂口安吾「青鬼の禪を洗う女」論

—題名に表象されるサチ子—

笙野頼子「母の縮小」論

—言語的装飾による他者の受容—

小川洋子「薬指の標本」論

—身体表現を起点として—

菊池寛「恩讐の彼方に」論

あさのあつこ『バッテリー』論

三枝和子「月曜日の夜のこと」論

—語り手の意識の変容を中心に—

山崎俊夫「夕化粧」

—描かれる「うつくしき」もの—

筒井康隆「家」論

新美南吉「ごん狐」論

—「一人ぼっち」が生み出す認識のズレ—

吉行淳之介『星と月は天の穴』論

—入れ子型の作品世界—

堀辰雄「聖家族」論

宮沢賢治「オツベルと象」論

—関係の成立と崩壊—

中島敦「巡査の居る風景—一九二三年の一つのス

ケッチー」論

岩瀬 雅美

大迫 敬典

岡田 美華

勝野 芽

加藤 仁

金田 郁美

河野 友哉

木津香葉絵

城内健太郎

諏訪 聡

竹内 量平

都築 優介

富川 陽太

波多野 恵

藤井 彩夏

松本 美穂

長野まゆみの〈少年〉像

—〈口にするもの〉を中心に—

志賀直哉「城の崎にて」論

—導かれる死生観—

「舞姫」論

村上春樹「蜂蜜パイ」論

野坂昭如『火垂るの墓』論

永井荷風「すみだ川」論

藤沢周平「蟬しぐれ」論

林芙美子「めし」論

—戦後を生きる中間層の女性たちを中心に—

宮崎駿監督作品 映画『風の谷のナウシカ』論

—構想と表現のゆくえ—

川上弘美『センチの鞆』論

谷崎潤一郎「少年」論

—悪戯遊びを中心に—

齋藤史『魚歌』論

—「濁流」を中心に—

与謝野晶子「金魚のお使」論

—教育的観点に立って—

押川春浪『海底軍艦』論

宮沢賢治「グスコープドリの伝記」論

—「グスコープドリの伝記」からみる賢治の死生観—

室生犀星「或る少女の死まで」論

—作品機能としての少女二人—

村田香菜子

吉岡 優希

池田 直史

金岡 生紗

重光 良亮

浅田 詩織

足立新之介

石野未来子

井上亜希乃

井ノ上絢香

上延 希帆

坂井 ユリ

清水美早保

高岡侑香子

武部 桃子

多知 凌介

湊かなえ「告白」論	橋本 涼香	広告キャッチフレーズにおける日本語表現について	江川 侑也
少年犯罪・少年法について	廣瀬 春音	日本語学習者の会話にみられる誤用傾向	小高 竜也
中島敦「虎狩」論	牧 千都世	コーパスによる複合語の研究	河本 矩明
宮崎駿「千と千尋の神隠し」論	門崎 綾	文学作品の語彙調査	新宮 一平
森鷗外「蛇」論	山岡のぞみ	オノマトペの研究	高山 裕加
山田詠美「蝶々の纏足」「風葬の教室」論	吉田修一「悪人」論	依藤太百足退治伝説の成立に関する考察	中国ホルチン砂地における砂漠化について
吉田修一「悪人」論	JUNG JINYOUNG	鍛冶信仰との関わりを通して	一人っ子政策が中国社会に与える影響
岡崎京子「pink」論	鈴木 七穂	日本人と猫	猫の認識
森鷗外「阿部一族」論	荳沼 茂	猫の化物退治伝承	文化を通じてみる猫
死ぬために生きた武士たち	岡澤 陽介	遠野物語の天狗伝承について	中国の教育と社会発展
清水の冠者」論	錦池 望	月の伝承	日本と比較して
人物造型の源流を探る	乾 由佳	日本人は月をどう捉えていたか	中国の経済発展がもたらす農村部・都市部の貧困問題
『徒然草』第三十一段の研究	勝野由倭子	中国文学専攻	中国の水問題
『大鏡』における藤原道隆の死の場面について	韓非子における「先王」論	幕末志士の漢詩について	現代中国における大学生の就職活動
藤原佐理伝からみる『大鏡』の作者像	左思の詠史詩について	左思の詠史詩について	中国の野球について
『大鏡』における「怪異」	王羲之の人物像	杜甫の交友	囲碁に見る日中関係
一行成伝を中心に	杜甫の交友	日中における「枕中記」の受容	魯迅の小説に描かれた鬼
『大鏡』における九条流の繁栄	『武経七書』よりみる中国古代の軍事思想	堀越 茜	慰安婦問題について知る
安子の「御族思ひ」を中心に	『大鏡』における女の「幸」	『源氏物語』との比較を中心に	魯迅の描いた墨子
『大鏡』における藤原伊周・隆家論	野田 千裕	平安文学と白居易	『故事新編』「非攻」を通して
オノマトペから導き出される場面の相互共通認識	前田 香穂	中国における反日思想の研究	謝冰心の作品を通して
池田 冴佳	森鷗外と漢詩	上野 慶子	革命文学論争の影響
			『春蚕』『林商店』の比較を中心に
			『孩子王』
			原作と映画を比較して
			中松 侑里

莫言の短編小説『火焼花籃閣』の研究

～第二次天安門事件を手がかりに～ 松田 瑠子

## 英米文学専攻

Kate Chopin, The Awakening における海の研究

小川かおり

F. Scott Fitzgerald の The Great Gatsby 研究

— Gatsby が Great を称されるわけ — 荒川 恵理

Vladimir Nabokov, Lolita 研究

— Humbert と Guilty の隣り合わせの関係について —

伊藤 沙希

Ernest Hemingway, A Farewell to Arms

— 雨の役割について — 岩 純子

Vladimir Nabokov, Lolita 研究

— ナボコフの「理想の読者」として『ロリータ』を

読む — 上田 秀幸

Vladimir Nabokov の Lolita 研究

— 主人公の愛情の二面性について — 奥村 仁美

Henry James, The Turn of the Screw 研究

— James が仕組んだひねりの分析 鎌田亜耶美

先祖から伝承された社会における「黒人らしさ」

河合 涼介

Kate Chopin, The Awakening 研究

— エドナ の選択 — 近藤 綾華

ホロコースト

— Sophie's Choice を通してみるナチス・ドイツ —

嶋田 夏海

The Great Gatsby における語り手ニックの役割

杉本 愛

Truman Capote, Breakfast at Tiffany's 研究

鈴木 浩子

The Great Gatsby における「金の存在価値」と「ア

メリカン・ドリーム」 十河 誠

F. Scott Fitzgerald, The Great Gatsby 研究

— 偉大な Gatsby と無責任な人々 — 出水 真吾

Vladimir Nabokov, Lolita 研究

— Humbert を映す「鏡」としての Guilty について —

中村 侑紀

Vladimir Nabokov, Lolita 研究

癖を形成した要因について 面脇 雄太

Lyman Frank Baum, “The Wonderful Wizard of

Oz” 研究

— 4人の登場人物がシンボライズするもの —

濱田 彩

Vladimir Nabokov, Lolita 研究

— Guilty の役割 — 平尾 圭

J.D. Salinger, The Catcher in the Rye 研究

— ライ麦畑のつかまえて役としてのホールデン —

藤本 洋介

Vladimir Nabokov, Lolita

— 「ロリータ」という名が表すロリータ像について —

松元 愛里

Anzia Zezierska, Bread Givers 研究

— ユダヤ人女性サラの辿り着いた場所 — 宮田 大基

Vladimir Nabokov's Lolita

— Charlotte Haze の真の姿について — 森元 蘭

Harriet Beecher Stowe, Uncle Tom's Cabin にお

ける奴隷の母子 山田 翔子

Vladimir Nabokov, Lolita 研究

— ナボコフと数字 — 米川 昌宏

Vladimir Nabokov, Lolita 研究

— 語り手ハンバートに関わる女性達について — 渡邊 円花

Kate Chopin, The Awakening 研究 結末につい

での考察 吉尾 美咲

The Age of Innocence における Innocence に

つきの考察 菊地 恭佑

Hamlet 研究 澤田 真吾

『十二夜』から見るシェイクスピアのジェンダー観

伊藤 未季

A Midsummer Night's Dream における William

Shakespeare の演劇観 今西 勝也

Winnie-the-Pooh の言語世界におけるユーモア

占部 里紗

『真夏の夜の夢』と『ロミオとジュリエット』の

比較分析 大江 佳奈

— 恋愛の主題と劇の構造を中心に —

『ザ・グレート・ギャツビー』におけるギャツ

ビーの偉大さに関する考察 大庭 菜々

— ニックの語りの分析 —

『ロミオとジュリエット』におけるシェイクスピア

アの恋愛観 岡田勇一郎

- A Midsummer Night's Dream における民間伝承の影響  
—妖精像の比較分析— 小澤まなか
- Winnie-the-Pooh がもたらす癒し  
—平和の象徴性をめぐる一考察— 金川 真巳
- Alice's Adventures in Wonderland における森の役割 上村 那緒
- シェイクスピアの『テンペスト』における欲望と闘争  
—平和学からの一考察— 北川 真由
- 『床下の小人たち』における強者と弱者の関係性をめぐる考察 藏立 智予
- Wuthering Heights における魂と肉体の相克 小森 美里
- Jane Austen の Pride And Prejudice に於ける女性の知性 高向 哲也
- Shakespeare の A Midsummer Night's Dream における狂気 辰口由希子
- ウィリアム・シェイクスピアの『お気に召すまま』における男装の役割 徳山 知香
- William Shakespeare の A Midsummer Night's Dream における妖精像 花田 恵里
- 『不思議の国のアリス』  
—子どもの観念と子どもの文化— 濱 みゆき
- Gulliver's Travels におけるファンタジー性と諷刺性 濱田 真理
- The Strange Case of Dr. Jekyll and Mr. Hyde における悪の問題 濱本 絢美
- Othello における嫉妬の諸相 藤田 真未
- ハリー・ポッター・シリーズにおける死生観の考察 前田ひかる
- エミリー・ブロンテの『嵐が丘』における階級差別の問題 宮路 典希
- Peter and Wendy における母親像 森田 美咲
- A Room with a view 研究  
—ルーシーの精神的成長について— 大野 友馬
- Alice's Adventures in Wonderland and Through the Looking-Glass 研究  
—ルイス・キャロルは何故アリスの成長を描いたか— 小倉 瑞保
- Where Angels Fear to Tread 研究  
—登場人物たちの精神的成長について— 神山 愛美
- The Great Gatsby における愛 木原 悠希
- 『一九八四年』に描かれた相反する側面  
—George Orwellの真意— 権代 健人
- Lewis Carroll, Alice's Adventures in Wonderland 研究 東條 佑紀
- E. M. Forster, Where Angels Fear to Tread 研究  
—ヒーローの精神的成長に対する女性の影響— 日原千菜美
- E. M. Forster, Where Angels Fear to Tread 研究 広野 大地
- Where Angels Fear to Tread  
—登場人物は果たして精神的成長を遂げたのか— 福地 愛子
- 『不思議の国のアリス』と『鏡の国のアリス』における言葉遊びと論理遊び 上野 眞歩
- ハックルベリー・フィン研究 渡邊 圭
- Alice's Adventures in Wonderland と Through the Looking-Glass 研究  
—キャラクターとアリスの関わりから見えるルイス・キャロルの社会批判と人間批判— 芦田 英恵
- The Bluest Eye 研究 太田英利香
- Angela Carter's Book of Fairy Tales 研究 大津屋利恵
- At the Back of the North Wind と Peter and Wendy の比較研究 岡田 明美
- ファンタジーランドの女性たち—  
Angela Carter's Book of Fairy Tales 研究  
—「結婚」という結末が意味するもの— 奥面 遥
- The Bloody Chamber And Other Stories 研究 奥野裕佳子
- The Bloody Chamber and Other Stories 研究 上本 麻衣
- Sister Carrie 研究  
—Caroline Meeberとつう女性— 久保 愛美
- The Bluest Eye 研究  
—なぜブルローラは精神破壊したのか— 小林 愛
- The Wizard of Oz 研究 齋藤 涼
- Angela Carter's Book of Fairy Tales The Bloody Chamber and Other Stories  
Angela Carter が表わすおとぎ話の母親像 志鳥 由佳

- The Story of an African Farm 研究  
 ～社会化された性とリンダルの最後～ 對間 凌子
- The Color Purple 研究 セリーにとっての愛とは 寺田 衣里
- L.M.Montgomery の Anne of Green Gables 研究 中島 佳美
- 英語教育における文学の活用に関する研究 仲田 麻希
- Little Women 研究  
 一子の成長における心の貧困と豊から 西田 理代
- The Strange Case of Dr. Jekyll and Mr. Hyde 研究  
 一ジキル博士はなぜ善と悪の分立に失敗したのか一 西野 綾
- Black Boy 研究～ライトが南部での生活で気付いたこと～ 西光 希翔
- Alice's Adventures in Wonderland ～Through the Looking-Glass and What Alice Found There 研究 西村奈菜子
- Joseph Sherman の World Folklore for Storytellers 研究 林 実優
- Uncle Tom's Cabin 研究 増田 彩花
- A Study of Francis J. Child's *The English and Scottish Popular Ballads* 山崎 遼
- The Scarlet Letter 研究 山田 早織
- 一人間にとつての詞とは一 山本 結以
- The Adventures of Huckleberry Finn 研究 山本 結以
- Acceptability of English Pronunciation by the Japanese 岡田 啓太
- tough 構文及び、それに類似する構文の比較と分析 伊賀上太郎
- 移動表現に関する考察  
 ～ come と go を中心に～ 狩野 寛企
- 名詞転換動詞における意味拡張と語彙的従属化 木内みさき
- 否定接辞の意味と構造 島田 大武
- 助動詞とその適切な使用法 霜山 雄也
- A Syntactic Analysis of Tense and Aspect in English 豊田 大輔
- 受動文における動詞の制約について 中島康太郎
- 助動詞と not の位置関係について 仲田 潤
- 定冠詞と不定冠詞の違い 西辻 愛美
- 多重 wh 疑問文の可能性 橋本 伸二
- 英語における性差とコミュニケーション 土海 綾子
- 冠詞の働き 藤村 真也
- 一認知フレームについて 日本人による L2 としての英語習得における課題 真鍋香菜子
- と効率的な学習方法 依田 拓己
- 関係節と定・不定冠詞における統語構造と意味解釈 磯村 光司
- A Study of Prepositions That 節をもちいた仮定法の用法について 中塚 友翔
- C.S.Lewis の『ナルニア国物語』について  
 一 Lucy と Edmund の成長をめぐる一 松永光香子
- 日本史学専攻 雄略朝の対氏族支配  
 一吉備氏・葛城氏を中心に一 原 珠実
- 平安女性貴族の教養と文学作品 加納 範和
- 院近臣の政治的動向 植田 佳純
- 保元新制 勝本 靖啓
- 一その実効性について一 越村 朱華
- 中世熊野詣の布施 野村 大樹
- 天神信仰の成立と拡大についての考察 永田 陽介
- 中世における芸能集団の社会的地位 櫻岡 祐己
- 一白拍子を中心に一 織田信長と京都 安宅 夕紀
- 中世大徳寺の組織と経営  
 ～本能寺の変に至るまで～ 稲垣 伸一
- 一塔頭如意庵を例に一 中世の葬法と三昧聖 小椋 光真
- 信長政権の都市政策 國枝 雅史
- 一薬市令の分析を通じて一 中世興福寺と非人・芸能民 高坂 育
- 中世女性の労働 サガラ里奈
- 中世政権の権力構造 下村 雄太
- 中世伊勢大湊の都市構造 竹内 峻
- 中世後期における店の営業・販売 則武 宏治



- 中世後期における日葡関係の形成  
 —日葡明、三方国の関係から— 古田 裕哉
- 中世の権力と動物  
 —馬と鷹の贈答を中心に— 堀之内 寛
- 中世後期の出産儀礼  
 —武家を中心に— 箕輪 真純
- 一遍と被差別民 一遍聖絵を見て 山下 功陽
- 中世の飢饉 渡邊 敬介
- 豊臣政権と京都の寺社勢力 平林 寛子
- 江戸と囲碁 遠藤 竜志
- 長谷川平藏の実像と時代  
 —『よしの冊子』を中心として— 深見 憲行
- 近世における弓術の諸相 鈴木 翔
- 十八世紀における博物学の流行に関する一考察 石尾 有望
- 平賀源内と木村兼葭堂を中心に—
- 近世八景に関する一考察 金原 俊介
- 名所化の歴史的背景を巡り—
- 赤穂事件にみる近世日本人の道德的倫理観 岸田 好貴
- 近世部落に関する研究 小林 朋代
- 京都の部落を中心に—
- 江戸時代後期における女性の髪形に関する一考察  
 —「日本ならではの」の美しさとは何か— 佐々木 佳
- 近世中期における庚申信仰の展開と宗教政策 中西 覚
- 武蔵国榛澤郡を中心に—
- 近世の相撲  
 —勸進相撲について— 長谷川正和
- 撰銭研究の再考察 古野光太郎
- 中山みきの思想  
 —講における伝播— 松永 理仁
- 近世における宇治茶と上林家 渡部 仁美
- 制服に込められた夢  
 —着用者・雑誌から見る制服の価値の変容— 岡寄 千秋
- 第四回内国勸業博覧会にみる京都観 藤崎麻委子
- たぎる欲望をロマンに変えて  
 —70〜80年代にみる人々の性的嗜好とロマンポルノ— 渡邊 治恵
- 観光目的としての文化財  
 —京都の場合— 貝辻 愛美
- 和風建築物とコンクリート神話 広島城天守閣を例に 酒井 英明
- 昭和40年代の都市銀行再編と企業集団  
 —第一銀行の事例を中心に— 野澤 和生
- 本に巻かれ煙に巻かれて  
 —本の帯史概論— 藤村 友弥
- 立憲主義下における国体論の展開  
 —上杉慎吉の国体論を中心に— 生田 幸士
- 倉田百三における思想転回の問題 上野 晃平
- 戦後日本における戦争責任と戦争の記憶の変遷について 小田嶋光太
- 初期紫瀛会の国権主義に関する一考察  
 —紫瀛雑誌を中心に— 甲斐 由樹
- 戦犯裁判と占領政策の転換 柿田 史雄
- 柳条湖事件前後における石原莞爾の対満洲戦略  
 —その転換点を中心に— 久保 健至
- 戦時下の旅行と総力戦体制  
 —雑誌『旅』を中心に— 戸井田 瞳
- 日中をめぐる歴史認識問題 重光葵とアジア政策 徳田 晃大
- 大東亜会議を中心に— 土井 明子
- 植民地朝鮮における兵役  
 —志願兵制度と徴兵制度の連続性について— 野間 るり
- 阪急沿線の宅地開発からみる住宅の洋風化 島澤真知子
- 麻生久の労働運動  
 —青年期の内面を中心に— 平井 佑亮
- 近世・近代京都における御土居に対する認識 稲熊麻梨子
- 中世後期における土倉方・納銭方について 及川 竣平
- 楠木正儀の政治的動向について 笠原 憲幸
- 中世禅宗の興隆とその要因 下垣 友里
- 後北条氏における支城領制の機能とその意義  
 —八王子領を中心に— 難波 直希
- 織田信長の「天下」 西崎 正成
- 信長期 京都所司代の再検討 西田 優衣
- 鎌倉時代における山野開発 松館 欣也
- 信長期における公武関係 森 裕貴
- 毛利・吉川・小早川家中における官途状及び加冠状 山崎 良輔
- 足利義昭御所の京都における意義 吉村 太一
- 豊後大友氏の天正遣欧使節に対する認識 桐畑 涼平

水爆実験と映画

—「ゴジラ」、「第五福竜丸」、「X年後」が伝えるもの—

池面 紗和

雛形本からみる三都書肆と地方絵師との関係

伊藤 愛理

一九五〇年以降の松尾祭

大路 慎二

—三宮社を中心に—

満州における相撲の諸相

大西 優

製靴業の創始と靴職人の労働運動

蔵田 克也

—西村勝三と城常太郎を中心に—

戦前期の樺太におけるスキーの展開

畑口 千夏

戦後日本社会における韓国大衆文化の展開

藤上 優美

—歌を中心に—

戦前日本社会における結婚と優生学の展開

南 沙織

イメージのなかの吉野

岡本 知里

—その変遷と背景—

阿部正弘の政治手法について

吉川 貴之

不肖ながら皇室中の一人なる

—朝敵となった皇族北白川宮能久親王について—

高橋 央

土製耳飾の胎土

中田 憲宏

岐阜県西部の突帯文土器

安藤 雅大

土偶の出土状況から見た土偶祭祀

富田 佳織

縄文土器の普及に伴う立地変化

森 文香

中部高地における縄文時代の漁網錘

山本亮太郎

家形埴輪の研究

金子 岳

—付属装飾品と比率を中心として—

初期須恵器の研究

千葉 与寛

横穴墓の成立と展開

納富 太郎

古墳の周濠の研究

番場杜志希

近畿地方における弥生時代の木棺について

山形 依代

京焼登り窯の実態

高木 雄大

—道仙化学製陶所の文献資料から—

須恵器製作技術の再検討

大木 綾子

—篠窯跡群の蓋坏類における湿台使用の可能性—

陶器製地雷薬匠の考古学的研究

澤田 直希

—国富産業有限公司社跡採集遺物を中心に—

陶器製手榴弾の研究

帖地 真穂

—配備と廃棄の視点から—

京都中近世の井戸について

長谷川 渚

—災害考古学の視点から—

須恵器生産組織の実態

東口茉佑子

—仰木遺跡を題材として—

近代友禪の模様の研究

山田恵里奈

—立命館大学所蔵の友禪図案の表と裏の分析をもとに—

古代の鉄生産技術

山本 晃平

—箱形炉の地下構造からみた地域性—

須恵器製作技術の考察

吉本 優里

—篠窯跡群における須恵器杯蓋端部の制作技術の変

化を中心に—

東洋史学専攻

「牢盆」の解釈について

早川 博人

『山海経』の編纂意図に関して

阿部 拓人

高祖功臣位次とその実態

鈴木 一平

史書に見える晋文公説話について

矢野 淳一

漢代における郵書通伝について

楠瀬 真穂

日唐関係における遣唐使の政治制度的貢献

高道 航

李林甫台頭の過程

竹谷優里菜

—その性格の変遷について—

中国近代における遷徙

田玉 優子

春秋時代の祖先祭祀における「神・人共同体」説の再検討

服部 友彦

秦漢時代における刑罰制度

山口 壘

洪仁坤から洪秀全へ

陶山 裕之

明代に於ける倭寇について

小山 雄大

鄭和の南海遠征について

石塚 菜月

—永楽帝の対外政策のスケール—

中国における麵の起源とその伝播

大久保貴将

金代・漢族士大夫層の学問の継承について

岡崎 喬太

中国近世民事訴訟史

久保田友馬

チンギス・ハン期における大モンゴル・ウルの

軍事的戦略

清水 翔貴

—ホラズム遠征を中心に—

中国における西洋近代軍事学の影響

城山龍太郎

—軍諮府からみる軍隊の近代化—

- 北宋中期の科挙改革をめぐる論争 谷崎 祐子  
 黒旗軍、フランスの対立と阮朝 中島 崇  
 〈大南寔録記事を中心に〉 近世日中の『山海経』受容にみる、別文献への図 宮嶋 太暉  
 版引用事情 中国明代王朝における火器の変遷とその運用 山本 泰輔  
 宋代の皇帝権力の確立について 吉田 健人  
 〈五代の諸政策・風潮からみる〉 『清史稿』からみた駐藏大臣の役割について 酒井 哲彦  
 毛沢東と中華人民共和国建国 小泉 雄亮  
 「経済開放政策」がもたらしたもの 金盛 通甫  
 〈中国農村部の問題を考える〉 中国証券市場史と経済発展 澤野 彰大  
 日中戦争にみる日中関係 塩崎 貴哉  
 安重根について 田村 惇  
 領土問題から見る中国の特性について 塚本 大祐  
 香港返還と「香港人」について 土屋 龍  
 日中関係が険悪になった原因とその諸問題 野口 侑嗣  
 孫文はどのようにして革命家になったのか 宮本 和真  
 「南京事件」論争の展望 吉岡 悠馬  
 両班と社会への影響 河本真莉奈  
 和蕃公主の降嫁 奥田 久美  
 戊戌の選試と科挙再開に見る元朝科挙 梶井 亮  
 中国社会と総力戦体制の構築 松田 純
- 守護獣としての獅子像 岩田 茜  
 〈漢代から唐代まで〉 後漢末五斗米道教団の特質 塚越 愛子  
 唐代女性の服飾 唐 果穂  
 〈開元・天宝年間に見られる流行と変遷〉 土居 果穂  
 明清における女性の在り方と女性の社会進出 平尾亜由美  
 〈纏足文化を中心に〉 唐宋の茶文化 藤井 紗貴  
 〈茶道の源流を探る〉
- 西洋史学専攻 貨幣で見る古代インド洋貿易 南 光平  
 〈ローマ帝政初期を中心として〉 皇帝フリードリヒ2世時代のシチリア王国の支配 内田 明衣  
 体制 なぜ、ジブシーは差別されたのか 戸口 竜馬  
 アレクサンドロス大王の伝説化に見る東西文化の交流 三井 智絵  
 第二次ボエニ戦争期におけるローマの施策 相田 将大  
 〈カルタゴを打ち破れたのはなぜか〉 古代アテナイにおける市民の政治参加 上田 天士  
 9世紀イタリア半島におけるイスラム教徒とキリスト教徒の関係 後 由輝  
 〈ルートヴィヒ2世をめぐる〉 アメンホテプ3世とアクエンアテンの間の共同統治 大河 賢人
- 地中海世界の中庭住宅に関する考察 扇田 美穂  
 〈イスラム文化の影響力をめぐって〉 イスラム世界の近代化と西洋思想 沖野 梓  
 〈新オスマン人の主張を中心に〉 共和政期ローマにおける「支配」とは 鈴木 弘明  
 〈周縁地域との関係性から〉 古代エジプト新王国第18王朝時代のアマルナ美術 高山 遥  
 について 12〜13世紀のシチリア王国におけるイスラム教徒の消滅をめぐる 中垣 遥  
 共和政ローマの政治と剣闘士競技 中西 弘樹  
 共和政期ローマの植民市政 富士 貴央  
 〈対サムニウム人の植民市建設を中心に〉 魔女のイメージの創出と変容について キリスト  
 教の悪魔学による影響 吉田 晴輝  
 ロンドン大火とその再建における王権とシティの対立 石原 瑛  
 〈イギリスにおける両市民革命間に見られる市民の反王権の発露〉 中世西欧世界における色彩イメージの変遷 山下 大輔  
 〈「青」と「黒」の隆盛と合一〉 大航海時代における航海伝説とスペイン人のインディオに対する意識の変化 山田 頌  
 エリザベス朝イングランドの民衆の信仰 清滝 麻梨  
 〈シェイクスピアの戯曲を通して〉 中世のキリスト教とセクシュアリティについて 森 あずさ

スペイン人征服者に対するインディオたちの抵抗

森川 理沙

フィレンツェにおけるメディチ家支配の確立

森下 愛

―ルネサンス期のパトロネージ利用―

聖母マリア信仰とそのイメージ 高橋かおる

幸福の形としての子ども願望 現代ドイツの場合

山本 菜月

19世紀における病の扱い 志村 朋樹

アメリカの芸術政策から見る、日本の芸術政策のあり方 藤井 正輝

民族的ドイツ人から見るドイツ人アイデンティ

ティの変遷 北村 易子

統合教育から見る北アイルランドの帰属意識

後藤 瞳

エストニア・ラトビアにおけるアイデンティ

と民族問題について 澤山 竣太

ブリティッシュネスと戦後の記憶形成

―第一次世界大戦の経験を通して― 丹田 美秋

ソヴィエト愛国主義とロシア・ナシヨナリズム

スターリン期ソ連の教育政策から考える 朝長 大裕

チェチェン紛争長期化の理由と民衆心理

平野 沙織

言語から見たユーゴスラヴィア紛争

―セルビア・クロアチア語を事例に― 牧野 成明

現代イタリアの政治と歴史修正主義 安室 純平

19世紀イギリスの自由貿易から考える食の商品化

山本 紗弓

身分と名譽の帝国

―非人種的ヒエラルキーで見たイギリス帝国とその解体―

富田 惇大

アルザスと国民意識 宮下 裕輔

フランス植民地主義と絵画

―20世紀初頭の異文化の影響から― 青木まりの

ティータイムと家庭の美学 枝 温子

個人化社会の原点

―戦後ドイツを通して― 大庭 一也

ホガースと18世紀イギリスの差別問題 小原 美奈

ヴィクトリア朝時代における女性の自己意識の形成

―美しい身体・ファッション・結婚― 高尾英莉子

イタリアの都市空間にみるアイデンティ

―リソルジメントという記憶― 濱田明日美

ファッションの都を保つパリ 藤岡 千香

アイラ・アルドリッジとシドニー・ポワチエ

―黒人俳優の成功― 阿部 涼子

アメリカとオーストラリアにおける先住民と経済

開発・文化継承と経済的自立の葛藤 戎谷 一都

20世紀アメリカ・カジュアル・ファッションの確立と発展

岡田 昌太

中産階級が主導した公民権運動・運動の分裂とその必然性について

岡田 亮

アメリカ映画にみる黒人像・差別から自由へ

風間 彩花

19世紀～20世紀における英仏国民の帝国意識の形

成と万国博覧会 鈴木 愛

一〇六

アメリカにおけるアポリシヨニストの活動と思想

想・イギリスの奴隷制完全廃止を受けて

成子 誠至

現在のヨーロッパにおけるプロサッカーの社会的

な位置づけ・観衆を通して 面村 駿介

アメリカ大陸における奴隷の労働と生活・17、18

世紀を中心に 森本 拓希

アメリカにおける制度・思想としての民兵・アメ

リカ独立戦争の特殊性の再検討 山本 桂

20世紀 スポーツにおけるアマチュアリズムの衰

退・政府、企業の役割を中心に 山本 祐揮

欧州テンサイ糖業の台頭とアメリカ・キューバ糖

業の変容 宮村 阿騎

地理学専攻

若狭湾における津波被害の可能性とその危険性

中馬 彰彦

大和川流域における住民の防災意識と防災への取

組み 内本 泰輔

―藤井寺市小山区の水害を事例に―

服部緑地における気温特性 萩野 誠也

―ヒートアイランドの特性を中心に―

観光地化が及ぼす旧宿場町への影響 高橋友佳子

―亀山市関宿を事例として―

京都府亀岡市保津町における水害への対応 田苗龍之介

整備新幹線開通によって生じる影響の地域差

—東北新幹線（盛岡～新青森）、九州新幹線（博多～

鹿児島中央）を事例に— 長澤 史典

東海三県における冬の地上風系

—気圧配置と地形に関連して— 濱島 優大

都市化の過程と水害危険区域の変化

—京都市山科区を事例に— 平田 和成

淀川水系の三川合流域周辺における土地利用と住

民意識 山中 知怜

寝屋川せせらぎ公園の利用実態と評価に関する研究

山本 崇弘

治水整備の進展に伴い生じる住民意識の変化

—京都府・由良川流域を事例に— 渡邊 和也

産業拡大による地域開発

—滋賀県甲賀地域を事例に— 土谷 優介

近畿日本鉄道における駅ナカビジネスの展開

—大和西大寺駅を事例として— 岩本 真帆

札幌都市圏における食料品製造業の立地展開

—全国上場企業を事例として— 鈴木 悠志

大阪府東部の産業集積について

—東大阪・八尾を事例に— 藤田 駿一

長崎県諫早市における市街地の再生について

—「改正まちづくり三法」の運用に基づく考察— 本多 俊介

企業の意向が地域に与える影響

—三重県亀山市を事例に— 村井 有沙

集約型都市構造を用いた都市再開発計画に関する

一考察

—富山県富山市を事例に— 村本孝太郎

古都京都における伝統織物産業の変化とまち並み

の変化からみる考察

—西陣織を中心に— 山本 瑛介

テーマパークへの経営戦略と可能性

—東京ディズニーリゾートを中心に— 安山 豪士

京都市北部におけるヒートアイランド現象

—西陣織を中心に— 國原 悠也

京都・新京極商店街の性格の変化

現代における京都市の学校統廃合と地域の関わり

—自治体が供給するバス交通の実態について— 勝部 順也

自治体が供給するバス交通の実態について

—鹿児島県始良市を事例として— 田中 孝輔

都市郊外の里山における耕作放棄地の景観生態学的

的研究

—大阪府茨木市北部を事例として— 中三川洸太

都市部における葬儀業者の立地展開と展望

—千葉県千葉市中央区を事例に— 三上 昌展

立命館大学生の就職の地理学的特性

—甲南大学との比較— 山室 貴紀

八ッ場ダム開発における川原湯地区の今後の展望

深夜における不良行為青少年の活動傾向

—首都圏郊外地域を事例として— 横田 惇

日本の宗教地理学概略、および京都市内における

宗教施設立地の傾向

—首都圏郊外地域を事例として— 吉田 賢秀

西陣地域における瓦鍾馗の分布及び地域性に関する

考察

—京都市のごみ排出にみられる地域間差異— 齋 紀彦

那覇市識名霊園周辺における墓地の形成過程

—新聞記事に基づいた大阪府における地域防犯活動

の特性

—一九八五年以降の朝日新聞の記事を対象に— 岡本 啓介

小地域における高齢者福祉活動の地域間差異の検証

—「福祉サービス需給空間」としての京都市元学区

単位に着目して— 坂田 晃彦

立命館大学衣笠キャンパス周辺における学生の交

通事故リスク認知

—京都市祇園・嵐山地区を対象に— 田中 翔子

観光情報サインの設置状況と情報提供に関する考察

—京都市祇園・嵐山地区を対象に— 田中 翔子

教育と社会環境の関係性

—学力・体力調査から見る地域間格差— 徳田 周五

京都市における精神科病院・診療所と臨床心理士

オフィスの立地

—放置自転車に対する駐輪場施設の効果と課題— 長井奈津美

大阪府松原市における自転車交通事故の空間分析

日本における国内航空旅客の流動とその変化

—福岡市天神・博多地区を例として— 細川 隆正

—福岡市天神・博多地区を例として— 増田 有紀

都市情報誌にみる都市開発と商業エリアの変容

—福岡市天神・博多地区を例として— 水野公美子

—福岡市天神・博多地区を例として— 山村 未央

信者集団と檀家制度の変遷について 三好 億人

三重県伊賀市旧阿山町におけるグリーンツーリズムによる農村振興

—伊賀の里モクモク手づくりファームを事例に—

安倍 雅人

京都の観光

—京阪四条駅とJR京都駅を事例として— 安野 峻也

道の駅における地域振興の展開と比較

滋賀県道の駅「あいの土山」を例にして 井澤 健人

社会変容とエスニシティに関する一考察

—神戸市中央区周辺を事例に— 岩崎 浩二

無人農産物直売所の実態と消費者ニーズ

—京都市右京区北嵯峨地域を事例に— 岡本 拓也

ファミリールランド閉園後における観光都市としての

変化と今後の課題 小森 彩花

—宝塚市を事例として—

京都府南丹市旧美山町における住民の高齢化問題

とその対応に関する考察 坂田 博昭

限界集落の現状と住民の生活

—京都府南丹市旧日吉町域牧山地区を例として— 佐藤 圭亮

—兵庫県たつの市の素麺業を事例に— 中村 英継

愛媛県今治市におけるタオル製造業の地理学的研究

西原由香里

観光地化による土地利用の変化と観光客数の動

向・傾向について

—嵐山商店街地域を事例にして—

濱田 薫

大阪府泉州地域における「食」振興の可能性

—漁業・漁港の取り組みを事例にして— 三宅 脩斗

京都における観光イメージに関する考察小説の分

析とアンケート調査をもとにして 横田 智也

温泉地の形成過程と現状

—長野県湯田中洪温泉郷を対象に— 井川理一郎

京都市北山通における地域イメージの変化と地域

変容 尾崎 景子

観光情報誌によるイメージとその変容

—神戸市中央区ベイエリアの事例— 河合 有紀

観光情報誌からみた観光客の行動と名所の変遷

—京都市金閣寺周辺を事例として— 土屋 尚子

歯科診療所の立地パターンの変化

—滋賀県湖南・甲賀エリアを事例として— 壺内 美希

特性を活かした道の駅の存続と展望

—亀岡市「ガレリアかめおか」を事例として— 中村友紀恵

リゾート開発の発展と展望

—和歌山市マリナーシティを事例として— 西村 真実

コウノトリの野生復帰による地域の変容

—豊岡市における自然共生社会への取り組み— 村上 宝

地域博物館としての丹波マンガン記念館

全 ボラム

「京都」をめぐる支配と土着の空間

—近代期における西陣と岡崎を通して— 中川 祐希

駐輪施設の構成要素と路上駐輪自転車の関連性

藤井 良平

名古屋市中心市街地における百貨店の店舗特性

安藤 香

高齢化するニュータウンにおける福祉施設の在り方

—泉北ニュータウンを事例として— 石川 隆寛

体験教育旅行における観光教育の可能性

—飯田市を事例として— 萩巢 里菜

住民の高齢化に伴うニュータウン内医療施設の変化

—千里ニュータウンを事例として— 奥村 千識

京都市中心部における中高層住宅の複合用途化

尾島 雄太

京都市における夜のイベントの広がり 鍵田紗保吏

京都市における金融機関の店舗立地 金澤 魅咲

大阪ベイエリアを中心とした観光行動に関する考察 川口 裕之

幸福度指標からみる近畿二府四県 外山 優

京都市西京区におけるロードサイド型店舗の立地 松井 洸仁

展開 村上 恵梨

道後温泉における建築物の色彩からみた景観特性

和歌山電鐵貴志駅における観光客の回遊行動から 村上 恵梨

みた赤字鉄道の再生 村上 功祐

観光客満足度を考慮した観光交通処理の方策 吉原 大介

—奈良県奈良市を事例に— 馬場 隆輔

居住形態に着目した東京都文京区における人口動態

エコファーマーの展開と地域農業振興 池田 準

阪神淡路大震災後の神戸市営住宅における居住者

特性の変化 金澤祥一朗

京都市内における商店街の動向と盛衰 金丸さおり  
京都市におけるボウリング場の立地展開 川畑 大輔  
駅前再開発による中心商業地の空間変化

—大阪府高槻市を例に— 貴志 大輔  
京都市における学生アパートの家賃の決定要因 高橋 朗

低廉宿泊施設の立地と開業に至る意思決定過程

—京都市を事例に— 永田 匠  
テナントの傾向からみた店舗特性とその周辺環境

との関係について  
—イオンモールを事例として— 西田 大地  
松山市周辺における交通と都市構造の関係 藤岡 貞之

福岡市中央区における賃貸マンションの立地およびその評価 安丸 慎吾  
自動車交通流からみた金沢都市圏の機能地域構造 山田 大立

### 学際プログラム

自己愛の表象

—タマラ・ド・レンピッカの作品から— 植田 日和  
青の美術 林 由布

—特に絵画とファッションについて—  
16世紀頃の北方ヨーロッパにおける風景画について 松下 静香

絵画においての聖母マリア —受胎告知から戴冠— 山本恵莉華

ジャパニーズ・ポップスの内容的傾向 稲本 裕太  
若者言葉と今後の日本語 穴瀬 俊介  
英語の流行り言葉とその移り変わり 上田 樹  
身体言語 上田 槇子  
チームスポーツにおいてコミュニケーションの重 岡田 拓  
要性

日韓の呼称比較からみる韓国文化 片山もこ  
ドイツ人はなぜヒトラーを支持したか 北川恵利香  
『千と千尋の神隠し』から見る日仏の言語と文化 小南 彩香

剣道の特性からみる言語の使用 澤田 明那  
ユーモアの効能 炭田 真依  
会話の含意 高野 萌子

教育現場で言語活動の教育をどのように行うべきか  
—現在のコミュニケーションを考える— 多田 良生

日本語の移り変わり  
—若者言葉からみる日本語— 太森 愛美  
四季が日本の色名や配色に与えた影響 中山 莉奈  
移りゆく言葉

—若者言葉、2ちゃんねる語などより— 長野 泰介  
外来語としてのあて字・熟字訓のあり方 野崎 里奈  
母子間コミュニケーションと絵本の読み聞かせの 橋本 萌加  
関連性

若者言葉から考える日本語のこれから 林 桂恵子  
ハワイ語から読み解く未知のハワイ 日高 早稀  
色彩語の日本と世界 藤戸 彩圭

『Le petit prince』と『星の王子さま』からみる

フランス語と日本語 山本 恵子  
対人関係におけるノンバーバルコミュニケーションの重要性 上北 彩夏

カナダのイマーシオン・プログラムから見るバイリンガリズム 岩井 萌  
小説は語る

—ガルシア・マルケス作品を中心としたラテンアメ

リカ文学が物語ること 粟津小百合  
日本の動物園の存在意義 石田 知子  
子どもをもつことをめぐっての社会的思想

私の麻雀 辻本 奈央  
多角的な視点からみるプレゼンテーション 藤田みさ紀  
「障害」による二分化とその境界

—ミシェル・フーコーを手がかりとして— 山本将二郎  
美術史の前で  
—ジョルジュ・ディディユベルマンにおける時間

イメージの諸相 佐藤香奈穂  
近代が間違えた富岡鉄斎と型に生きる自由 小坂 亮介  
化粧文化の変遷

—日本を中心に— 飯田 圭織  
グラフィックデザインに見られるデザインの変遷 小澤 瑞佳  
と影響

東アジアにおける麒麟図像の変遷 河嶋 茉美

アニメーション作品における音楽の効果

木村満里奈

美術から辿る富士図像

三宮早由里

鳳凰像と朱雀像の混合における一考察

島岡 千紘

さまざまな漫画からみるその変遷

庄司 昂平

もののけ姫から見る自立した女性

菱野 睦子

寿司について その源流と変容

山本 紗織

アニメーション作品における視覚効果

野田 千晶

—シヤフト制作アニメーションを中心に—

酒井 陽子

中心柱窟発生についての一考察

酒井 陽子

軍国主義と桜

因幡宗太郎

—国定教科書からの考察—

因幡宗太郎

御霊信仰の確立と「境界」の成立

佐藤華乃重

—平安期の怨霊を中心に—

佐藤華乃重

マーガレット・ミッチェルの描いたアメリカ南部

佐藤華乃重

—ジェラルド・オハラ の葬儀における喪失と語り—

佐藤 里弥

イタリア・ルネサンス期における理想都市概念の

佐藤 里弥

変遷

佐藤 里弥

—軍事的実用性とのせめぎ合い—

下野あゆみ

情報化社会におけるインテリジェンス

高山 将大

現代アメリカにおける戦争と国民

高山 将大

—映画から観るプロパガンダと国民意識—

竹内 亜希

近代日本における「国民の犬」の創成

竹内 亜希

—軍用犬を中心に—

渡邊夏奈子

冷戦期の核兵器開発競争は私たちに何をもたらしたのか

渡邊夏奈子

たのか

末次 沙織

マリク・アンバルとインド洋西海域における黒人

マリク・アンバルとインド洋西海域における黒人

池澤 叡輔

—日本における音楽教育と校歌

越智 祥寛

TRPGのプレイ風景を対象とした研究

横松 士昂

アメリカ社会における文学の可能性

横松 士昂

—ヘミングウェイとインディアン—

花城美和子

「表具」が担う役割

花城美和子

—掛け軸についての考察を通じて—

奥野 祐未

社会現象としての「B'z」

奥野 祐未

—日常の音環境への意識

伊藤 諄也

アニメーションのメデアミックス戦略

植田 陽子

—現実とゲームの戦争の歴史と兵器の関連性

植田 陽子

—日本における音楽大学の意義

清瀧 美穂

—演奏家育成機関としての機能—

清瀧 美穂

—ナードコア・テクノ

清瀧 美穂

—日本語テクノの一形態—

清瀧 美穂

—音楽産業におけるライブや野外音楽フェスティバルの重要性

清瀧 美穂

—その特異性—

清瀧 美穂

—カリブにおける抵抗のヒーロー像の変遷

清瀧 美穂

—イギリスの子ども観と絵本の相関関係

清瀧 美穂

—英語の歴史

清瀧 美穂

—各国における蜚蠊のシンボリック的立場の考察

清瀧 美穂

—その特異性—

清瀧 美穂

—カリブにおける抵抗のヒーロー像の変遷

清瀧 美穂

—イギリスの子ども観と絵本の相関関係

清瀧 美穂

—英語の歴史

清瀧 美穂

ヘリオガバルス帝におけるトランスジェンダー

ヘリオガバルス帝におけるトランスジェンダー

—なぜEUはトルコとの加盟交渉を続けるのか—

作間あすな

—階級社会について

まちづくりがイタリア都市にもたらした賑わい

—貴族階級からみる商業国家から文化国家への変貌—

佐々木 瞳

—美術作品におけるヴィーナスの表現の変遷について

清水 藍

—トルコのEU加盟問題

野田 葉

—なぜEUはトルコとの加盟交渉を続けるのか—

野田 葉

—ファッションドールの社会的役割

野田 葉

—スペインと闘牛

野田 葉

—イギリスのオリエンタル幻想

野田 葉

—アラジン挿絵からみるヴィクトリア朝の眼差し—

野田 葉

—国際プログラム

野田 葉

—映像におけるアメリカ人家族 ニューヨークの

野田 葉

—表象をとおして

野田 葉

—アフリカ系アメリカ人の自由への道のり

野田 葉

—楽の観点から

野田 葉

—観光と文化 楽園を巡る考察

野田 葉

—日本人とそのアイデンティティ より豊かな異文

野田 葉

—化コミュニケーションに向けて

野田 葉

—江見美加子

野田 葉

—赤堀沙利香

野田 葉

—阿部 紗弓

野田 葉

—犬飼 智尋

野田 葉

—大飼 智尋

野田 葉

—江見美加子

野田 葉



- 「平等」の先に開かれた社会 スウェーデンにおける女性の社会進出をめぐる出口 智美  
日本人と英語コンプレックス 憧れと劣等感の歴史 内藤理沙子
- USJ vs. TDL  
—ホスピタリティの理論と実践— 中曾 奈苗  
表現と承認欲求 SNS上での自己と他者 堀 夢菜  
路上で生まれるコミュニケーション ITの発達 三品 倫史  
が与える影響とは アメリカ史に見るマフィア 全盛期としての禁酒 森下 亜紀  
法時代を通して ブロードウェイにおける死の表象 ミュージカル 坂野 有優  
「RENT」を手がかりとして 新しい観光による淡路島振興の可能性と課題 赤坂 美香  
日本の多文化共生社会実現のための取り組みの現状と展望 打田 彬  
—多民族国家との比較から考える— 日本人学生ボランティアによるフィリピンにおけるコミュニケーション開発支援 大庭 茉莉  
—その実態と今後の課題— 世界の食文化から観る異文化理解 加藤さゆみ  
—可食・不可食をめぐる文化摩擦— 中国人留学生を取り巻く労働環境と雇用問題 小林 俊介  
—日本企業が目指すべき姿とは— 日本とアジアにおける貧困に対する意識 笹瀬 和哉
- バン格拉デシユにおける貧困問題と Global Village によるアプローチ方法 末永 沙与  
—学生ボランティアから見たその可能性と課題— 日本語教育の意義とその可能性 高松 一花  
英語の世界への広がりとその役割 巽 渉平  
地域で取り組む温暖化対策の重要性 環境モデル都市京都と高知県四万十川流域の住民の取り組み— 天白 汐美  
フィリピン貧困層が抱える問題点とNGO団体が果たす役割—現地貧困家庭訪問を通して 中西 絵都  
世界の移民政策から見る、日本の課題とこれから 中野 佑香  
『不思議の国のアリス』が教えてくれる文化 西野 麻子  
国語教育が及ぼす国民性形成への影響 —国語教科書に描かれるイギリスの国家像— 西村 季穂  
途上国の平和・開発のための日本の教育支援 —日本型授業研究の国際化における課題と可能性— 廣田 裕佳  
日本における「ハーフ」のアイデンティティ —バーチャル世界・リアル世界のコミュニティから共生を考える— 二本 彩乃  
多民族国家マレーシアにおけるプミプトラ政策と教育の関わり 山本 佳奈
- 「持続可能な社会」に向けた企業の役割 —CSR（企業の社会的責任）とBOPビジネスから考える— 由井みなみ  
スポーツは国際関係構築の手段になりえるのか 若井 美樹  
日米中における大学生のインターネット利用に関する社会文化比較研究 多鹿ちなみ  
SNS普及に伴う現代青少年の心理的変化 —いじめ問題を中心に— 石塚万璃奈  
高校生の登校や授業参加を促進・抑制する要因の分析 石原さおり  
中国人観光客が日本へのリピーターとなる要因の研究 —関西国際空港におけるアンケート調査をもとに— 小林 早織  
キューバ社会主義政策が持続できた根拠・地理学的文化人類学的アプローチを用いて 小鮒 亮  
異文化経験が外国人イメージに及ぼす影響に関する研究 定廣 絵梨  
限界集落を消滅させない為に —京都府船井郡京丹波町仏主を事例として— 田邊 蘭  
ホームレスになるのは自己責任と言いきれるのか —ホームレスの実態ととりまく環境について— 戸田 旭美  
B級グルメを用いたまちおこしの効果と持続性 —「B-1グランプリ in 姫路」の事例から— 中村 美咲

ウガンダ北部における土地問題  
だんじり祭の魅力とは

濱田愛結花  
樋口 尚香

日本における多文化社会形成の可能性

— 欧米諸国（米、加、豪）との比較から — 藤谷 聡

京丹後市における田舎暮らしの展望と課題

— 欧米のスローライフを参考に — 藤村 聖奈

京都観光における「京町家」の可能性

— 京都への観光客に対するアンケート調査から — 宮川 結妃

米国における肥満の子どもたち

森近 幸恵

日本における医療観光の将来像

— タイとの比較研究を通して — 藪 佳奈子

美山グリーンツーリズムから見る観光開発の在り方

方・住民の本当の豊かさとは 山田 絢子

— フィリピン・セブ島調査を通じて — 佐野 由也

日本の英語教育における現状と課題

— アジア諸国との比較を通して — 加藤あゆみ

アメリカにおける中絶論争

— キリスト教徒のプロ・ライフ、プロ・チョイス論 上野 智子

9・11同時多発テロとアメリカ社会

— イスラム教への対応を中心に — 植前 光葉

朝鮮近代におけるキリスト教の受容と展開

— 植民地期を中心に — 浦谷芽希美

橋下徹のリーダーシップ

— 現代ポピュリズムの危険性 — 逢坂 龍

宗教がもつ対立と平和構築の両面性

— 北アイルランド紛争とキング牧師の例を中心に — 小山 佳奈

サードカルチャーキッズ

— 国際移動する子ども達の新たなアイデンティティ — 花井 真央

テレビが左右する大統領選挙

— 米ニュースの役割と影響についての歴史の見解 — 松本 尚子

Employees' Cultural and Linguistic Backgrounds and Their Communication Styles in Japanese International Workplaces

— 遠藤友香理 石川 桂

Fantasy Literature's Suffering and Joy: A View from Tolkien's Point of View

— ファッションとジェンダー 服飾史からみる変遷 井上くるみ

Advertisement Communication: A Comparison of Two Advertisements

— アリスの夢と奇妙な住人たち ルイス・キャロル 杉本那智子

Worldview and Love: A Study of Otome Gokoro

— 描かれてきたか 音が心に届くとき 音楽の力 前田 実穂

Manga and the Market: A Study of Change

— 真砂 陽亮

## 心理学専攻

中高年者のライフイベント体験と健康感および幸福感との関係 北田 彩乃

達成への圧力と不安傾向がパフォーマンスに与える影響 小山 拓也

大学生における運動と心身の健康の関連 杉田 幸司

大学生における摂食障害傾向と自我同一性の関連について 面田知可子

スポーツジム会員の運動継続に及ぼす要因 — 自己コントロール、動機付け、運動セルフエフィカシーに着目して — 西野 昌宏

異色相配色の色彩環境が作業能率に及ぼす影響 橋本 朱世

飲食店従業員の職務満足感と感情労働行動の関連 松井 大典

大学生の喫煙行動と気質との関連性 光田 安里

大学生の進路決定とレジリエンスとの関連 山城 正志

大学生における卒業後の進路の自己決定性と達成動機およびアイデンティティの確立との関連 米澤 勇人

女子大学生における代理摂食とその影響要因 王 勝男

大学生における祖父母との関係と介護における意識の関連性 大重 美和

同性愛者のカミングアウトが当事者自身に及ぼす心理的影響 神内 貴彦

説明文理解における方略指導の効果

— 教示による読解指導 — 吉柳 一世

単純計算・音読が及ぼす発達障害児の表情理解への効果

塚本 恵理

幼児の計数原理獲得の発達順序について

前畑 希

高齢者の子どものサポート授受と生活満足度の関連

脇田 真里

大学生の友人関係の形成に対する動機づけと環境要因

稲葉 俊介

— 大学におけるクラス講義から —

大場 永倫

絵本の挿絵と幼児の物語記憶

村上 達哉

— 共感性との関連 —

拍手を伴う賞賛が幼児の内発的動機づけに与える影響

村田 彩

大学生における親準備性の形成と被養育体験

望月 勝也

— 時間的展望との関連から —

手続き記憶の保持

稲垣 範彦

— 加齢による影響の検討 —

学習判断に影響を及ぼす要因の検討

岩永 尚子

— 加齢、および記憶に対する自己評価との関連 —

立方体模写課題における加齢変化

遠藤 志乃

— 高齢者と大学生を対象として —

達成目標、テスト不安、自己調整学習方略が学習行動および学習意欲に及ぼす影響

— 中学生の動機づけ方略に着目して —

大学生の友人関係における過剰な外的適応行動

— 内省行動と本来感の維持の視点から —

テレビ・ネット動画親近感とテレビ・ネット動画

視聴行動の関連性について 塩崎 崇史

高齢者の主観的 well-being に影響を与える要因

— 孫への意味づけに着目して — 妻崎 希実

高齢者介護施設職員における介護に対する肯定的・否定的評価が精神的側面に与える影響

永田 敬愛

— やりたいこと探し の動機における自己決定性と進路不決断との関連

青年期における適応的な依存欲求と社会的スキルの関連の検討

林 篤実

大学生における結婚観の形成にメディアが与える影響

古瀬未知子

家族機能が大学生の自己受容、社会的スキルに及ぼす影響

吉松 周平

公共場面での迷惑行為の生起に影響を与える環境的要因について

中村 竜朗

現代青年の友人関係スタイルの傾向

— 自尊感情・親友との関連に着目して —

居川奈菜絵

— 自尊感情・親友との関連に着目して —

男女差から見た道徳性の発達と社会的相互作用の関連

池田 愛

子育て支援機関の支援者の母親に対する関わり方と子育てに対する考え方の違いについて

太田 菜月

ライフストーリーからみる神経性習癖の持続要因

— 爪噛み・ささくれ剥ぎに着目して —

岡田 幸恵

部活動と個人の相互関係の考察

— 立命館大学応援団吹奏楽部の部員の語りをもとに —

非科学的現象に対する肯定感形成の要因と影響

— 批判的思考、不安感および自己効力感から —

東 静花

生涯発達の視点からとらえる「母親になること」

第一子の子育てにおける女性のライフストーリーより

藤原さつき

母子の性格の差異から見た大学生の母子関係の変化

— 下宿生と自宅生を比較して —

保育所保育士における共感と母親への育児支援行動の関連

— 共感経験尺度改訂版(EESR)を用いて —

馬塚 瑞樹

就職の決定プロセス

— 周囲の人間関係から受ける影響 —

山中裕美子

児童養護職員の児童への関わり方と心理的变化

— 職員の語りと参与観察から —

湯川 真依

— 第二反抗期における親子の関わり方 —

第二反抗期の定義に着目して

福井 博道

大学生の組織コミットメントと意欲低下との関連

田野邊優也

異性のきょうだい関係と友人との関わり方について

— ふたりきょうだいの長子の語りを通して —

有福 和

## 新規卒業者の就職活動における心理的変化

—就職活動を経験した大学4回生の語りを通して—

大町 旦

## 仕事に関する理想自己形成における他者の影響

—大学生の語りを通して—

小澤 洋之

## 大学生が認知する被養育経験と攻撃性との関連

—親との親和性に着目して—

尾辻 健太

## 自閉性障がい児をもつ母親と父親における夫婦協働的な「障がい受容」過程

—両親の語りを通して—

小島 拓

## 恋人を有する女子大学生の進路決定

—沖縄県出身大学生の語りから—

米須 愛香

## 部活動を通じての成長の心理的過程

—体育会に所属する大学生の語りから—

佐竹 萌

## 青年における心理的自立と動機づけ形成の関連

—主体評価と客体評価のずれに着目して—

高城 雅裕

## 色彩が不安感に与える影響の男女間における差異

—緊急地震速報の受容に着目して—

高倉 亮

## 母親の養育態度と幼児の愛着の関連について

—攻撃行動と向社会的行動に着目して—

山口 美香

## 寺離れの時代におけるお寺のマイクロ・エスノグ

—ラフィ—

日野麻璃子

## 女子大学生にとつての女子会の意味・役割

—場の観察とインタビューから—

泉谷 理紗

## 在日中国人留学生における対人ネットワーク構築に関する研究

—友人関係機能に着目した半構造化面接による検討—

梅原はるな

## テーマパーク利用者の満足度に関する面接調査

—期待不一致モデルのTEMによる検討—

川端 愛

## 東日本大震災後の購買行動についての研究

—福島と関西の大学生、双方の視点から—

黒田 絢子

## 発達障害児を持つ母親への支援研究

—フィールドワークとインタビュー調査を通して—

篠原 大地

## 声かけ事案等におけるコミュニケーションの齟齬について

—筋ジストロフィー病棟における入院患者の趣味活動の変遷—

清水銀次郎

## テレビゲームユーザーへの理解を深めるために

—女子大生へのインタビューから—

相馬 優太

## 防災意識と防災行動の関連性

—地域における比較検討—

田方 ゆり

## ステレオタイプ情報を含む報道が裁判員の量刑判断に及ぼす影響

—被疑者の国籍情報において—

富谷 隼也

## 戦後GHQによる青年心理学テキストの検閲について

—大飯原発再稼働に関する2ちゃんねるの分析—

中田 友貴

## 文化的移行による化粧行為の変容

—西岡 郁弥—

松村 和輝

## 異性の友人関係におけるナイーブ・シニシズムの検討

—奥野 博志—

## 喫煙者と非喫煙者における健康度・幸福度・社会的志向性の関連

—天野 真珠—

外見的魅力が及ぼす人間関係における自己評価維持

—在田 友—

シャイネスに至る過程の考察

—池内真理恵—

鉄道の「携帯電話電源OFF車両」と一般車両での携帯電話使用行動の分析

—上野 高生—

ボーガスバイブラインを使用した日本人の自己高揚・自己卑下傾向の研究

—薄葉 文香—

学生の座席選択における傾向

—辻本 真樹—

大学生のSNS使用による人間関係におけるストレス反応

—鶴山 淑恵—

Twitterおよび直接的対面における自己開示の効用の差異

—野中 綾—

集団間地位が集団ひいきに及ぼす影響

—藤ノ井峻介—

スポーツにおけるジnkクス・縁起かつぎの研究

—氏家 大輔—

悲しい音楽が気分には及ぼす影響について

—小西 嘉恵—

大学生における就職不安

—厨子 彩香—

時間評価に及ぼす作業課題の効果

—西村 彩香—

大学における学生ITサポーターの役割について

—大山 遼—

ハトの問題解決行動

—福岡 優伽—

不安要素の維持・形成要因

—樋野 夏凜—

社会不安から考察する—

- アスペルガー症候群と Perspective-taking  
 ～2名の児童の症例を通して～ 中川あづさ
- Perspective-Taking 課題と共感性との関連  
 ～多次元感性尺度(MESS)を用いて～ 堀江 瑞季
- 大学講義における参加者数のスクリーン表示を用いた出席者数・遅刻者数の改善 櫻根 幹大
- 模擬店舗を利用した就労支援における計算課題 玉井 貴子
- 携帯のメール機能とチェンジトークを用いた禁煙サポートプログラム 有田 優佳
- 少年柔道における女子選手を対象とした意欲向上による出席率の向上と技の取得を目指した取り組み 大野 瑞貴
- 障害者の就労場面において他者に教える行動がもたらす効果の検討 小島 遼
- 学習意欲を上げる授業づくりについて 佐藤 拓朗
- 学内模擬店舗における知的障害を持つ成人に対する就労支援実習  
 ～ビデオモデリング・セルフモニタリングを中心とした支援方法の有効性の検討～ 森本 有絵
- 漫画を用いたマインドフルネスワークの有効性の検討 米田 美緒
- 顔文字と絵文字の印象評定とその比較 岡田 宗治
- 男女間における顔写真を用いた単純接触効果の検討 下水木秀彬
- 自己による性格特性と他者による性格印象の一致 高橋 春菜
- 性の検討 高橋 春菜
- 実画像を用いた表情の感情的意味空間における無表情の範囲の検討 宮脇 万友
- 有彩色光下における作業効率の変化と有彩色光環境が心理および身体に与える影響の検討 村上 育子
- 色によるおいしさへの影響度 村井 亮太
- サッカー選手において競技意欲が試合時のメンタルに及ぼす影響 石原 弦
- 色彩嗜好とファッション意識が服装嗜好色に及ぼす影響 千馬 由起
- 洋風リビングルームにおける配色のイメージ評価への影響 田口侑里香
- 自己顔の「正像」と「鏡像」の熟知性について 田路 耕平
- 女性のメイクが印象判断に及ぼす影響 松井 結
- 1回限りの囚人のジレンマゲームにおける他者の視線と協力行動 海老池千鶴
- ニオイの環境的文脈依存効果に対する情動の影響 坂田 亮輔
- The Influence of the Brand Name on a Product Choice 上 一音
- 連続的意思決定場面におけるアンカリング効果の持続性の検討 杉岡 直哉
- 感情価と覚醒度が時間評価に与える影響 田中裕太郎
- 集団意思決定における集団の特性と個人のコントロール感が後悔感情に与える影響 利根川大志
- 情報源の信憑性が真実性効果に与える影響 早川みなみ
- リスク認知に対する知識の影響…原子力発電の場合 原 愛美
- 意思決定における現状維持効果と現状変更効果…見込みが後悔に及ぼす影響 原田 明弥
- 大学生の法則理解における操作の学習効果 井口 修平
- 既有知識を利用した自然科学的知識獲得に及ぼすカテゴリー名呈示の効果 黒田 美南
- 手続きの説明文における文章理解支援  
 —挿絵の利用— 小林 優真
- 大学生における利用規約の読解支援 東條 優雅
- グループ学習が大学生の目標達成感に与える効果 西中 優弥
- 学習時における積極的休息の効果  
 —計算課題を用いて— 藤澤 千紘
- 自己効力感の低い中学生の英語読解学習における推測方略の教示効果の検証 牧 加奈女
- 大学生における自己効力感の向上を目指す成功体験の効果 宮本 知里
- 中学生の古文読解における漫画教材の学習効果について 八木 皐月
- 要約テストの予期が読解方略の使用に及ぼす影響 山下紗智子
- 口頭説明における知識の共有の確認の重要性 山本 悠介
- 好みの音楽聴取と不安軽減との関連  
 —鎮静的音楽と覚醒的音楽との比較に着目して— 越智 音色

同性・異性の友人関係の在り方

—対人ストレスコーピングの選択に着目して—

面迫一途美

精神科看護師の勤務形態によるメンタルヘルスケアの質的差異の検討

—精神科病棟と診療所との比較—

上村 愛香

きょうだいを持つ子どもにおける両親間葛藤の認知

—心理的適応および抑うつとの関連—

木下 大輔

即興演奏の感情伝達における音高の役割

—音楽経験の有無に着目して—

手島 啓互

ペットが飼い主にもたらす心理的効果、および飼

い主の心理的過程

長尾 彩加

大学生の友人関係目標と所属グループにおける対

人ストレスコーピングの関連性

安居 舞紅

東日本大震災において被災地に派遣された救急隊

員の心理のプロセスの検討

渡邊友理加

大学生における夢への意味づけ

—半構造化面接による文化差との関連性の検討を踏

まえて—

社会人外国人留学生の孤独感に関するPAC分析

—半構造化面接による社会人学生の現状を知る—

金 英順

グループ箱庭の内的体験の検討

—私立大学の社会人学生がなぜ大学に通い、学ぼう

橋本 絵理

と思ったのか

—幕末期京都における諸藩の投宿の実態

小寺 悠司

京都学プログラム

平安女流作家が京都の社寺に求めたもの

河内好の葉

京都におけるコンテンツツーリズムの可能性

北田 和也

京観世と西陣

木村 有沙

平野啓一郎『高瀬川』論

倉部 一星

京都の文化的価値の再考

佐藤奈々加

京都が求める現代建築

菅原 萌子

明治期京都美術界の『自立』

鈴木 麻見

—京都博覧会における席上揮毫から—

高橋 叶成

幕末における京都の「名所」

武富 知子

建築からみる京都イメージの揺籃

塔下 夏果

「京都づくり」と「まちづくり」

仁木彩友美

—二つの地域から考察する京都のまちづくり—

森見登美彦作品の内なる『金閣寺』

萩原 未季

—描かれた京都の「闇」—

山田さつき

京都市内小学校校歌からみる「京都」

吉田 真子

京都「レトロモダン」建築の文化的価値の変遷と

その展望

『京都新聞』戦時広告に見る京都市域建物疎開の

実態

京都における建物疎開の遂行

—京都府の自主性と国策—

後水尾院政と水戸宰相光圀

—御三家の「尊皇」と京都—

中世洛中における声聞師の社会的地位

幕末京都の治安

—実態と住民の意識—

北白川の二大産業と白川女

中世後期京都被差別民の造園職能と賃金

『看聞日記』にみる京都と田舎

—風聞巷説を材料として—

八瀬童子「鬼の子孫」説と前近代京都の「鬼」

京都町奉行所における娼妓管理政策の変遷

近代着物の「受容」

—伊吹コレクションを中心に—

二〇〇〇年代の五条坂ののぼり窓について

二〇一二年現在の祇園祭

—合同巡行・後祭—

伝統を継承するということ

和鏡からみる伝統工芸の現状

五条坂の登り窓を巡る人々の思い

—登り窓に対する意識の違い—

『京都町触集成』にみる京都住民の防火意識

幕末期京都における諸藩の投宿の実態

久保 義仁

小林幸太郎

佐藤 圭佑

佐藤風映子

新垣 佳苗

谷垣 南

京町家の再生と活用

渡部 唯子

『枕草子』からみた平安貴族の場所に対する認識

パークアンドライドに適した民間駐車場の評価  
— 京都の郊外地域を対象として —  
福島 祥太

— 『拾遺和歌集』との比較を通して —  
植田ちひろ

京都市の歴史的景観保存地区におけるサウンドス  
テープに関する研究  
森山 隆太

緑視率からみた京都らしい景観

神社の祭神・神獣とご利益の変遷

京都における観光空間の歴史的変遷

— 護王神社を事例として —  
荒木 菖子

— 近世以降ガイドブックの日割モデルコースに着目して —  
小田 美鈴

山村の観光振興をめぐる住民の協働システム  
— 京都府美山町北集落を例に —  
池村佳央梨

一九五五年以降の宇治茶産地における茶園面積の変遷とその背景

花街を支える芸妓・舞妓のライフヒストリー  
— 祇園甲部を例として —  
岩本 奈々

— 京都府和束町を事例として —  
勝村 黎

一般市民主導型の露店  
— 京都市左京区知恩寺の百万遍さんの手づくり市を例に —  
門 美友紀

近代以降京都の百貨店における屋上の空間利用の変遷

現代の都市祭礼における担い手と空間構造  
— 京都祇園祭船鉦町を事例に —  
佐藤 弘隆

— 京都府和束町を事例として —  
小林 瑞歩

伏見酒造業における生産構造の変容  
— 杜氏集団から酒造技能者へ —  
杉本 憲一

嵯峨嵐山の竹林景観の変遷と管理状況の現状

宇多野ユースホステルの経営活動とその変化  
— タクシーを利用したグループ行動の有効性 —  
高橋 慎

大学生の認知地図からみた京都の空間認識とイメージに関する研究

京都市都心部における伝統行事の運営システム  
— 鯉山町を事例として —  
野口 奈那

— 地域活性化・イベント史 —  
杉本 克央

中小企業の立地と後継者問題  
— 京都市の精密機械産業を事例として —  
松田 樹

映像作品にみる京都の景観イメージに関する研究

地域コミュニティにおける防災対策  
— 京都市中京区を事例に —  
丸山 充郁

近世・近代水利事業における琵琶湖疏水の位置づけと疏水神話の検証

観光ガイドにみる音声表現のあり方  
— 京都観光案内の制作 —  
笠原あすか

一九五〇年代以降における鴨川の水質変化と利用の歴史

舞台表現と映画表現の比較考察  
— 共同研究「他県民が話す関西弁にみられる違和感」 —  
廣田 亜希

GISを用いた聚楽第の復原

— 立命館大学文学部卒業論文題目 —

— 市電の歴史と沿線環境の変化に着目して —

— 野口 隆博

— 野口 隆博

— 丸山 充郁

— 丸山 充郁

— 丸山 充郁

— 丸山 充郁

— 丸山 充郁

— 丸山 充郁

— 丸山 充郁

— 丸山 充郁

— 丸山 充郁

— 丸山 充郁

— 丸山 充郁

— 丸山 充郁

— 丸山 充郁

— 丸山 充郁

— 丸山 充郁

— 丸山 充郁

— 丸山 充郁

— 丸山 充郁

— 丸山 充郁

— 丸山 充郁

— 丸山 充郁

スポーツ事業がもたらす地域への影響

— 京都競馬場周辺を事例にして —  
矢野 智裕

昭和前期京都における花街・遊廓・席貸街  
— 『京都市明細図』の紫区画に着目して —  
住沢 杏子

言語コミュニケーションプログラム

観光ガイドにみる音声表現のあり方  
— 李 未玲

メディアによる音声伝達のあり方  
— 伊藤 円香

— 伊藤 優香

— 伊藤 優香

— 伊藤 優香

— 伊藤 優香

— 伊藤 優香

— 伊藤 優香

— 伊藤 優香

— 伊藤 優香

— 伊藤 優香

— 伊藤 優香

— 伊藤 優香

— 伊藤 優香

— 伊藤 優香

— 伊藤 優香

— 伊藤 優香

— 伊藤 優香

— 伊藤 優香

— 伊藤 優香

— 伊藤 優香

— 伊藤 優香

— 伊藤 優香

— 伊藤 優香

— 伊藤 優香

ラジオドキュメンタリー「変化する学内メディアを追って」  
船越翔奈保

共同研究「他県民が話す関西弁にみられる違和感」

不破 彩奈

敬語表現の現状と将来の方向性  
水島 咲良

観光ガイドにみる音声表現のあり方  
山本 寛子

子供向けの歌における日本語アクセントの変遷  
池内 一宏

絵本における非日常体験と大人のコミュニケーション  
池内友里絵

ヨン  
遠藤 眞子

デイズニー映画の表現に表れたジェンダー観  
大澤 幸穂

夜中に映る大人の世界  
木原世梨花

各感情における音声学的特徴の比較と分析  
島 翔

夜中に映る大人の世界  
清水 愛路

あだ名のつくられ方に関する考察  
田口 祥子

オーディオドラマ「暗闇での邂逅」  
辻村 咲衣

ダブルエンディングストーリー『その先にあるもの』  
松井 美樹

絵本と紙芝居の表現比較  
渡邊 玲奈

ストーリー性のある歌の研究と制作  
周 秀衍

太宰のペンケース  
周 秀衍

建築業における営業会話を円滑に行うための談話  
研究 梶

研究 梶

BUMP OF CHICKENの歌詞におけるストーリー

性の考察 太田 紫穂

研究 梶

性的考察 太田 紫穂

性的考察 太田 紫穂

日本語学習者との会話における日本人大学生の発話機能  
萩野 由麻

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

「日本語学習者の発話を引き出すために」  
勝 美晴

日本語を母語としない外国人高校生の二言語に対する意識  
西川 奈那

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季

「日本語・母語学習に向かわせたものは何か」  
橋本 美季



- 日本語上級者対象のオノマトベ教材 中村 彩椰  
日本語学習者のための京都観光日本語学習教材 堀 愛梨  
日本語学習者のための京都観光日本語学習教材 松尾 詩織  
日本語上級者対象のオノマトベ教材 松村真理子  
日本語教育『マンガで学ぶ役割語』の教材制作 森 瑞紀  
上級者向け会話教材『カジュアル日本語』 八木 亜純  
日本語学習者のための京都観光日本語学習教材 山端 里弥  
日本語教育における敬語表現の学習方法一案 山本 伸弘  
地域方言に影響される日本語  
——中国人日本語学習者日本語発音における母語干渉—— 俣 佳如  
Japanese Students' Aversion for English and Their Learning Strategies 朝倉 鞠乃  
The Gap between Integrated and Unintegrated Productive Skills in English 小川 真加  
Teachers' Oral Input in the Introductory English Classes in Junior High Schools 杉本 杏  
The relationship between pronunciation and motivation of Japanese EFL learners 谷 英樹  
The effect of audio information on the memorization of English words at the receptive level 山下 沙理
- 柔道指導法におけるスポーツオノマトベの効果 石本 志帆  
音象徴に基づく商品名の量的分析 内田 善哉  
日本語に定着する外来語の分析  
——普通名詞における意味分類の観点から—— 海田 育理  
戯曲執筆方法論 江崎 拓  
——自然な会話を目指して  
初心者にも理解しやすい「人工言語比較事典」の製作（作品） 岸本亜里紗  
スウェーデンと日本の比較から見るマニフェストの言語運用 島田 直樹  
絵本における動物のステレオタイプの分析 中澤 滲  
高齢者のための健康食品パンフレットの作成（作品） 山中 彩  
テーマリサーチゼミナール  
原爆と人間  
——原爆がもたらしたもの—— 大西あずさ  
友情論 鍋島由梨子  
——アリストテレスとキケロを巡って—— 橋本 知彰  
野村克也の野球 ビール業界の現状と課題 前田 望未  
ブランド考現学 浅沼 大介  
タバコの歴史とこれからの展望 杉山 晴哉
- 毒になる親と毒される子ども  
——家族療法でどのように虐待連鎖を防ぐか—— 原田 朋美  
現代ファッション考 西岡美乃里  
日本合唱史の考察と展望 紙谷 誠士  
ステイブ・ジョブズと松下幸之助 古川 琢也  
テレビドラマの電話 岸本 光貴  
日本におけるジーンズの歴史 足立 博紀  
かまどから炊飯器へ 上島 大佑  
ギリシア文化と日本文化の比較考察  
——神に対する認識の相違を通じて—— 三木茉莉奈  
地中海世界の都市における文化の展開  
——ナポリのトマト食文化の形成を通じて—— 荒木 星子  
浴場から見る古代ローマの生活と文化 佐藤 光  
古代エジプトの海外交易 森 浩一  
アメリカに渡ったイタリア移民 高野 舞  
ガウディ建築が創るバルセロナの地域性 嶽 奈士斗  
19世紀フランスにおけるファッション産業と市民 鳥居 愛夢  
アルジェリアにおける学校教育の変遷と現状 八百 里紗  
沖縄の風土からみる伝統的民家 藤井 和之  
沖縄幻想論 沖縄の現実と観光の間で—— 浜田 綾子  
沖縄県におけるヘルスツーリズムの可能性 浅野 恵  
沖縄の食文化 小笠原 舞

持続可能な観光と地域活性化

— 沖縄における観光地づくり —

沖縄県のスポート振興について

ひめゆり学徒隊の沖縄戦

沖縄のサンゴ礁

— 海の熱帯林 —

沖縄料理と沖縄文化

沖縄における長寿観の変遷と生年祝いの変容

— 近世琉球王国の儒教化政策から風俗改良運動まで —

現状から沖縄観光の将来性を探る

遊女歌舞伎と近世京都花街

京町家の現代的利用

雛祭考

平安時代の色彩感覚

京都市内の参道狛犬について

祇園祭の厄除け粽について

古式競馬

— 上賀茂神社・競馬の儀と賀茂神社・足伏走馬 —

上久世駒形稚児の現状と信仰

変わる祇園祭

— 各町の対応とこれから —

節分に関する一考察

— 『貴船の本地』と『魔滅塚伝説』の比較から —

川端康成『古都』が及ぼした影響について

館 恵里加

日本人と桜に関する一考察

大学生におけるキャリアガイダンスの効果

視覚教材による高校生の国語学習のやる気支援の有効性

中学生における運動部所属が学業に与える影響

ノート取りへの動機を高める個別指導の在り方

— 支援の必要な子どもの事例研究 —

子どもの学習へのやる気が育つ家庭的要因の考察

比較広告が及ぼす効果についての検討

指導者の指示の仕方と選手のやる気の研究

歴史学習における象徴事例と視覚情報の効果の検討

質問の有効性の教示が及ぼす児童への質問生成の促進

— 算数の問題解決を通じた検証 —

小学校教科書の視覚資料が児童の理解に与える影響

外国映画のリスニングが大学生の学習意欲に及ぼす影響

高校生の部活動への所属が生活満足度に与える効果

人間と嗜好品

— 煙草を例にして —

齋藤 貴志

農業の発展とグリーン・ツーリズム

— 西欧諸国をモデルに —

日本と韓国の民族弓矢の考察

— 両国の管矢を中心に —

地方行政における外国人児童の教育問題

— ブラジル人児童を中心として —

大阪市西成区釜ヶ崎の地域再生

— 現状と今後の展望 —

テレビゲームの進化と社会

カカオを取り巻く諸問題

— 薬・飲料・食物へと形を変えて —

農地解放がフィリピンにもたらす発展の可能性

京都市の観光政策

軍歌の変遷からみる日本近現代音楽史

ドイツにおける多文化共生について

Jリーグ活性化のために

フィリピンの歴史・政策からみる貧困問題

台湾社会の哈日族の実態

フランスのエネルギー政策

「野蛮」の創造

インドの宗教対立と政治闘争

バルセロナのナシヨナリズムにみる多文化・多言語共生

戦う女の子

遠藤 真依

宮田 昂

李 憲正

中面美佳子

篠田 遥

長谷川 遼

和田 理沙

石原 由貴

川瀬 博之

福井 真

田中 淳也

生川 慎二

今村 元気

瀬野 涼

下野あずさ

城 裕也

三木 徹

工藤 悠平

遠藤 真依

渡邊 奈央

佐々木 愛

清水 咲弥

細川 美波

齋藤 貴志

伊藤 叶英

今西 夏実

森 ほたる

白岩 嗟千

忠地 真央

大橋 真空

音村 珠未

志賀 舞子

## 航空産業の今と昔

～航空産業の発達で人々の生活はどう変わっていくのか～

石橋 美希

## ともに歩んだ監督と俳優

～張芸謀と鞏俐、いくつかの作品を中心に～

川合 喬

東洋一美しい居留地を舞台にしたミニ国際社会

現代中国映画が描く中国人像

小林千恵美

～チェンカイコー監督作品を中心に～ 福井 環

バンクーバー地域における華人社会

中国大衆映画の背景

塚田 梨恵

～フォン・シヤオガン作品に台湾映画を加えて～ 高木 理子

日系アパレル企業の中国市場への参入

吉川侑喜子

Educational success and its effect in Korea

有谷 咲紀

塚本 智士

従業員支援プログラムについて

伊タリア

Community-Based Tourism in Asia:How It Empowers Women in a Community 宮本早映子

・フイレンツェとの比較を通じて

河口詩津賀

The Pursuit of National Happiness in Japan:

中国映画の「虚」と「実」の間

朝比奈重佑美

Following Models of Bhutan and Denmark

～ジャ・ジャンクーの作品世界を中心に～

村上 一匡

Discrimination against Women in Afghanistan: Challenges and Prospects 須藤 理江

中国映画が映す現代中国の都市開発について

井上 愛

Development of Malaysia as Officially Multieethnic: Focus on Affirmative Action Policies 高橋 和樹

～張楊監督『胡同のひまわり』『川の湯』より～

岡田 花緒

Asian Women in the Global Economy: Mobile Suppliers for the World 菱谷 優子

映像が映し出す戦争

久岡 千尋

Child labour and Prostitution in Thailand 岡崎 美里

～陸川『南京！南京！』を中心に～

三木明日香

The "Missing Girls" in China: How to Deal with Gendercide? 磯田 唯子

香港映画の「美」

林 道韞

The Social Distortions in Contemporary China: Income Differentials,Ant Tribe, Hukou System 面村 敦志

～王家衛監督作品と張国栄を中心に～

林 道韞

王家衛監督論

梶原 千波

～中国映画の恋愛と孤独～

梶原 千波

90年代の中国と香港の映画の諸相

梶原 千波

～陳可辛監督と曾志偉を中心に～

梶原 千波

林書宇監督作品への自己投影

梶原 千波

～『那些年（あの頃）』を中心に～

梶原 千波

梶原 千波

梶原 千波